

月刊 社会保険 10

2018 VOL.819

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



中小事業主掛金納付制度の愛称が「iDeCo+」(イデコプラス)に決定しました。

日本年金機構からのお知らせ

事業主の皆さまへ

マイナンバーが未収録の厚生年金保険被保険者について、氏名・住所等の確認にご協力ください。

平成31年4月から国民年金保険料の産前産後期間の免除制度が始まります。

平成29年度厚生年金・国民年金収支決算の概要

平成31年度厚生労働省予算概算要求の概要

中小事業主掛金納付制度の愛称が「iDeCo+」(イデコプラス)に決定しました。 5

日本年金機構からのお知らせ

事業主の皆さまへ

マイナンバーが未収録の厚生年金保険被保険者について、氏名・住所等の確認にご協力ください。 8

平成31年4月から国民年金保険料の産前産後期間の免除制度が始まります。 10

平成29年度厚生年金・国民年金収支決算の概要 12

平成31年度厚生労働省予算概算要求の概要 14

年金・健康保険委員活動報告 まず1歩、健康づくりは財産づくり

大管工業株式会社取締役管理部長 福井 博文 18

書評 康永 秀生 著『健康の経済学—医療費を節約するために知っておきたいこと』 20

サステイナブル 持続可能な社会の扉を開けた人たち

第2回(後編) サステイナビリティ先進国アメリカにみる新たなビジネスモデル。

アキナス大学経済学部名誉教授 山崎 正人
株式会社朝日エル会長 岡山 慶子 21

自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを拓げる行動変容 第6回 パーソナリティの測定

埼玉学園大学教授 古澤 照幸 24

さまざまな視点から考える認知症 第6回 早期受診のためらいとその先—認知症介護・家族の視点—

公益社団法人認知症の人と家族の会理事・NPO法人ハート・リング運動アドバイザー 錦田 松代 26

認知症を予防する 第6回 コーヒーと長寿の関連性

お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 28

社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36

特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ

表紙写真・竹内敏信／イラストレーション・水森亞土／デザイン・STデザイン、(有)フェイム／編集協力・(株)アップルハウス／印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「樹の風景」

青森県青森市八甲田山



冬寒くなる地域の紅葉は、美しく色を変える。その理由を、わたしの経験から考えてみる。暑い夏から残暑にならざ、急激に温度が下がる。そうすると、葉は美しく色を変える。特に「残暑」が大きく左右する。残暑が極端に長いと、葉は色を変える前に枯れてしまうからである。

寒くなる地域は、残暑になることが割と少ない。そのため、紅葉を求めるときは都心から離れ、雄大な自然に求めることが多い。

しかし、ここ青森県は寒い地域ではあるが、市街地から何十キロと離れたところではない場所で撮影している。樹は太く立派である。撮影するため車を走らせているとき、ひときわ目立っていた。どこでどんな出会いがあるか、そんなことを思わせてくれる瞬間であった。

◎ 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けしておりません。

● 地域の紹介

青森県は本州最北端に位置し、3方向が海で、東は太平洋、北は津軽海峡、西は日本海に囲まれております。大間のマグロ、水揚げ日本一の八戸のイカ、陸奥湾ホタテなどは特に有名ですが、そのほかにも新鮮でおいしい海の恵みがたくさんあります。

また、青森県の中央には日本百名山のひとつで、奥羽山脈の北端に位置する八甲田山があります。

大管工業株式会社取締役管理部長
福井 博文



年金・健康保険委員活動報告

まず1歩、健康づくりは財産づくり

流とともに青森県の景勝地のひとつであります。

● 青森市と観光

青森市は県庁所在地で青森県のほぼ中央に位置し、南は八甲田山、北は津軽海峡につながる陸奥湾の支

湾、青森湾に面しています、人口は平成30年4月1日で28万5158人の中核都市であります。

夏には青森ねぶた祭りがあり、8月2日から7日まで開催され、今年の期間中の人口は280万人だったそうですが、太鼓の響き、笛の音、跳人のエネルギー、そして迫力あるねぶたは、関係する人、見ている人、皆のところを熱くします。よろしければ是非、生でご覧いただくな、参加してみてはいかがでしょうか。

また、青森市三内丸山地域に約5000年から4000年前の縄文時代の大きな集落が発見され、三内丸山遺跡として国の特別史跡とされおり、1500年もの長期間集落を存続維持できた理由とはなんだつか、命を大切にし、争いをせず自然と共生し、海の幸をいただき、山を切り拓き、畑をつくり、不足するものは遠くから調達もしていたともいわれています。私たちのご先祖様

かもしれない先住民を見習い、地域繁栄のための活動をしたいと考えています。

● 事業所紹介

弊社は昭和42年2月に青森市に本社を置き、設備工事、塗装工事、土木工事、下水維持管理の業種を中心とした建設業を行い、今年で51周年を迎えています。

最近では、地下埋設管の補修工法を開発し、メーカーとして全国に展開し、材料販売と技術指導を行っています。

関連会社として土木工事、建築工事、舗装工事、一般貨物運送業の株式会社大坂組。

ガソリンスタンド、碎石販売、損保・生保代理店、建設資材販売、不動産業の株式会社大一通商。

建設業、重機車両レンタル業、木工製品製造販売の新日本工業株式会社等があります。

● 委員活動報告

● おわりに

弊社では、社員が健康づくりに取り組むことにより、社員の健康意識が変わってきたことを感じています。

健康づくりの活動ができるだけ多くの企業や団体に知つていただきたいと、協会けんぽのテレビCM、青森県や青森市のテレビ番組、ニュース、広報誌、ラジオ、市民フォーラムなどで発信し、1人でも多くの人が健康になれるように取り組んできました。



大管工業株式会社

弊社では現在、社員と会社の健康のために健康経営に取り組んでいます。取り組むことになったきっかけは、数年前、協会けんぽ青森支部主催の講習会に参加し、弘前大学中路教授にお目にかかったことです。当時、私は社員の定期健康診断の結果を確認し指導する立場にありました。毎年の健康診断の結果、社員のメタボリックシンドromeの該当者が増加傾向にあること、各人の数値が徐々に悪化することをどうしたら止められるのか、そしてどうしたら改善できるかということに常に悩んでいました。

中路教授は、青森県民の健康に対する意識が低いことが問題で、それは喫煙率の高さにも現れしており、特に運輸業と建設業が高いとおっしゃっていました。あらためて弊社のデータを確認しますと、その高い建設業の平均をさらに約10%上まわっていました。そこですぐに産業医に相談したところ、禁煙に取り組むよう指導があり、禁煙を希望する社員には禁煙外来を受けてもらうこととし、その費用は全額会社負担としました。

とした同業者平均48.9%には少し及ばないものの、前年の59%から49.3%と約10%減らすことに成功し、喫煙者数は全社員の半数以下になりました。昨年は同業者平均48.3%（協会けんぽ青森支部資料）を目標にし、結果は46.4%を達成しました。今後は県平均、全国平均を目指としていた。毎年の健康診断の結果、社員のメタボリックシンドromeの該当者が増加傾向にあること、各人の数値が徐々に悪化することをどうしたら止められるのか、そしてどうしたら改善できるかということに常に悩んでいました。

しかし、禁煙希望の1人で1番最初の禁煙外来申込者だった社員は、大変なヘビースモーカーだったのですが、自分は無理かもしれない弱音を吐きながらもがんばって、第1号の卒煙者になりましたが、数ヶ月後肺がんが転移した状態で見つかり、他界しました。

なぜ発見できなかつたのか、なぜもう少し早く取り組めなかつたのか、とても胸が痛みました。

このことからも健康診断の結果で要精密検査の社員には毎月指導し、通院した結果を報告するよう求め、この2年間では100%受診を達成しています。その結果がんが3名発見されました。すぐ手術し再び仕事に復帰しています。

また、さらに1歩前進したいと考へ、健康増進のため、全社員を対象

いました。

そこですぐに産業医に相談したところ、禁煙に取り組むよう指導があり、禁煙を希望する社員には禁煙外来を受けてもらうこととし、その費用は全額会社負担としました。

結果は8人中5人が成功し、目標

が健康になれるよう取り組んできました。

そこですぐに産業医に相談したところ、禁煙に取り